

三重県障がい者芸術文化活動支援センター
令和7年度事業報告書



ごあいさつ

三重県では、芸術文化活動を通じた障がい者の社会参加を促進し、地域における障がい者の多様な活躍の場を広げることを目的として、2020年9月に三重県障がい者芸術文化活動支援センターを開設しました。平成24年度より開催している三重県障がい者芸術文化祭に加え、活動機会の創出、相談支援や研修会、ネットワークづくり、情報収集・発信などを行い、障がい者芸術文化活動の普及支援に取り組んでいます。

運営団体である私ども三重県障害者団体連合会は、県内の市町障がい者団体で構成しており、地域とのつながりという強みを活かしながら、福祉や芸術等の専門家、事業所や文化施設の職員、ボランティアの方々など、様々な関係の皆様との協力を得ながら事業を進めております。

センター開設以来、応募が700件を超える芸術文化祭の連携体制等を活用したネットワークの構築、受賞作品等の巡回展を県内各地域で開催、音楽等の身体表現によるイベントやバリアフリー演劇鑑賞会、支援方法等に関する研修会などを実施してまいりました。

令和7年度は、新たにダンスワークショップを熊野市で開催し、障がい者施設の利用者や支援員、障がい者団体の皆さん、県、市の行政職員などが一緒に音楽に合わせ気軽にダンスを体験し、外国人の講師とも打ち解け、参加者同士の交流もあり、「新鮮でとても楽しかった」「家でもしてみたい」等の声が聞かれ、満足度の高いワークショップとなりました。

また、5年目の開催となりました「みえアールブリュット2026」の志摩会場では、最終日に「2025大阪・関西万博文化芸術ユニバーサル・ツーリズム」との連携企画として、島根県からいわみ福祉会「桑の木神楽会」様をお招きし、日本遺産「石見神楽」の上演を行いました。上演後には、大蛇や衣装、小道具に触れたり、記念撮影をしてくださったりと演者の皆様とも交流させていただき、参加された方々は皆、口々に感動を伝えてくれました。センター職員も障がいのある方による最高峰の表現に驚き、胸を打たれ、このように感動的な舞台芸術を、障がいの有無に関わらず多くの方に鑑賞いただきたいという想いを強くいたしました。

今後も関係の皆様との連携をより一層深め、誰もが当たり前前に芸術や文化を楽しむことができる環境づくりに努めて参ります。引き続きご支援ご指導を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、センターの事業の実施にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

三重県障がい者芸術文化活動支援センター



CONTENTS

- 01 ごあいさつ
- 03 活動機会（鑑賞・創造・発表等）の創出
～三重県障がい者芸術文化祭の開催～
令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 作品展
- 05 令和7年度三重県障がい者芸術作品アーカイブ
- 07 ～三重県障がい者芸術文化祭の開催～
令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 ステージ発表
- 08 ～芸術性に特化した展覧会の開催～
みえアールブリュット2026
- 10 連携企画 日本遺産「石見神楽（桑の木神楽会）」
- 13 ～民間団体等・市町・企業と連携した作品展示～
- 19 ～音楽、演劇、ダンス等の身体表現によるイベントの開催～
- 21 芸術文化活動の支援に関する研修会
- 23 三重県障がい者芸術文化活動支援センター Instagram の紹介
- 25 事業所等に対する相談支援 ～アートサポーター派遣、相談～
アートサポーターの登録
- 27 センターの運営、ネットワークづくり
- 28 ピアレビューについて
- 30 事業評価及び成果報告

活動機会（鑑賞・創造・発表等）の創出

～三重県障がい者芸術文化祭の開催～〔実施主体〕

令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 作品展（出展数722点）

■会 期 2025年12月12日（金）～12月14日（日）

■会 場 三重県総合文化センター 文化会館棟（津市）
ギャラリー、大会議室、小ホール

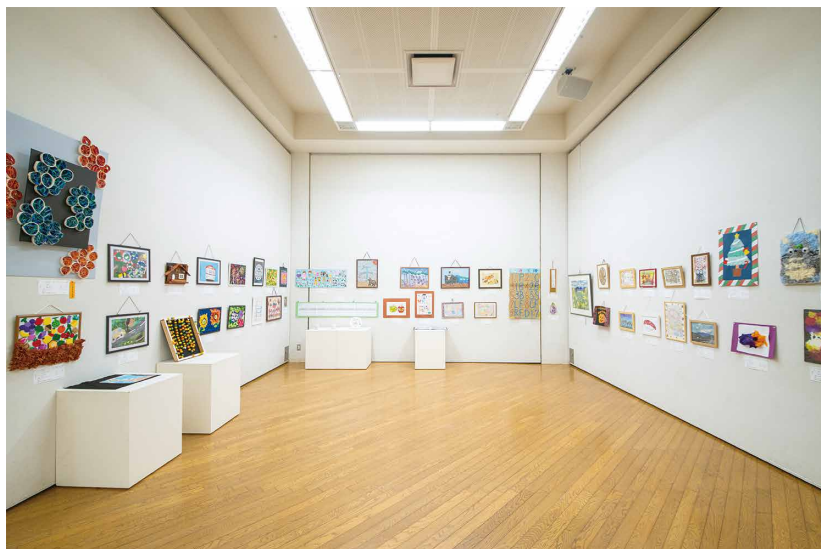
■主 催 三重県

■実施主体 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会

■後 援 三重県教育委員会、三重県社会福祉協議会
三重県文化振興事業団

■来場者数 2, 414人

■作品展示 ①絵画、②写真、③書道、④陶芸、⑤手芸、⑥工芸、⑦俳句、⑧貼り絵・その他
部門別に優秀賞を選定し表彰 受賞者43名（三重県知事賞8名、三重県議会議長賞8名、実行委員長賞8名、きらめき新人賞8名、奨励賞11名）
共同作品（審査対象外）、県立特別支援学校（公募対象外）





同時展示（三重県人権センター）



表彰式



表彰式前の
ウェルカムピアノコンサート



就労継続支援事業所による
「ぷちマルシェ」を開催

関連企画

ドキュメンタリー映画「へんしんっ！」上映会&トークセッション
三重県障がい者芸術文化祭作品展 プレ見学会 [協カ]

- 開催日 2025年12月11日(木)
- 会場 三重県総合文化センター 文化会館棟(津市)
ギャラリー・大会議室
- 主催 三重県総合文化センター コネクトそうぶんプロジェクト
- 協力 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 参加人数 見学会 43人
- 内容 三重県総合文化センター主催の芸術文化祭関連企画(イベント)として行われた映画上映会&トークセッションの参加者への事前見学会



令和7年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品アーカイブ

三重県知事賞

絵画部門	写真部門	書道部門
		
イルカ 菅尾 博司	外出する喜び 中嶋 宏行	楽 吉川 旭
陶芸部門	手芸部門	工芸部門
		
麒麟 世古 卓也	ボンボン 坂口 陽子	くるくるくる 市川 翔太
俳句部門	貼り絵・その他部門	
片 上 り の 魂 甲 め 子 た 園 福本 紀昭		
	花火 諸戸 隆輝	

三重県議会議長賞

絵画部門	写真部門	書道部門
		
遊泳 大西 裕次	ななめせかい 駒田 友章	今 神野 魁
陶芸部門	手芸部門	工芸部門
		
ペンギン 永田 実	カラフル 増岡 沙織	パノラマカー 中村 勝
俳句部門	貼り絵・その他部門	
鳥 内 渡 る の 子 真 の 集 白藤 弘子		
	ゆうすげの丘 辻岡 大介	

実行委員会賞

絵画部門	写真部門	書道部門
		
トピカリズム 宮河 健介	コスモスとぼく 東山 仁輝	新しい挑戦 宮崎 靖子
陶芸部門	手芸部門	工芸部門
		
カエルの水盤 堂東 信子	日傘 カサブランカ	十一面観音菩薩像 非公開
俳句部門	貼り絵・その他部門	
流 木 に 残 る 昼 潮 の 騷 月 瀬川 令子		
	太陽と月 伊藤 寛市	

きらめき新人賞

絵画部門	写真部門	書道部門
		
八野就労大集合！ 山本 勇雅	ぼくのすきな電車いっぱい 三宅 悠斗	ぼくの夢 中嶋 惇人
陶芸部門	手芸部門	工芸部門
		
大すきなバス 早川 旺助	どうぶついっぱい 高橋 侑大	シゴドラ 草野 結登
俳句部門	貼り絵・その他部門	
襟 巻 と 遺 さ る 足 西沢 博子		
	私の手の中で 清水 景子	

奨励賞

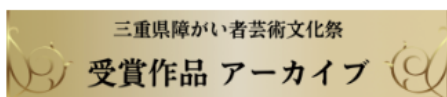
<p>絵画部門</p>  <p>夢見る乙女 オムライスを見る 宮本 忠彦</p>	<p>絵画部門</p>  <p>こいとあそぼう 田中 成佳</p>	<p>絵画部門</p>  <p>華 大西 隆次</p>	<p>写真部門</p>  <p>愛のささやき 植田 弘子</p>	<p>書道部門</p>  <p>花 植村 浩則</p>	<p>陶芸部門</p>  <p>桃太郎と仲間たち 鈴木 克彦</p>
<p>手芸部門</p>  <p>かぞくのために 東 愛梨</p>	<p>工芸部門</p>  <p>ゴージャスな雪の結晶 河村 美幸</p>	<p>俳句部門</p> <p>伊 玉勢 じ詣 や 車り い痛 すし 大橋 京子</p>	<p>貼り絵・その他部門</p>  <p>ぼくの友だち 小林 蒼朋</p>	<p>貼り絵・その他部門</p>  <p>友達、大好き 石田 明梨</p>	

サブタイトル賞

「あふれる感動 はじける元気 芸術は最高！」 池田 みゆき

■三重県障がい者芸術文化活動支援センターホームページ

三重県障がい者芸術文化祭 受賞作品 アーカイブ



- [令和7年度 受賞作品](#)
- [令和6年度 受賞作品](#)
- [令和5年度 受賞作品](#)
- [令和4年度 受賞作品](#)
- [令和3年度 受賞作品](#)



ホームページ二次元コード
(<https://mie-asc.jp>)

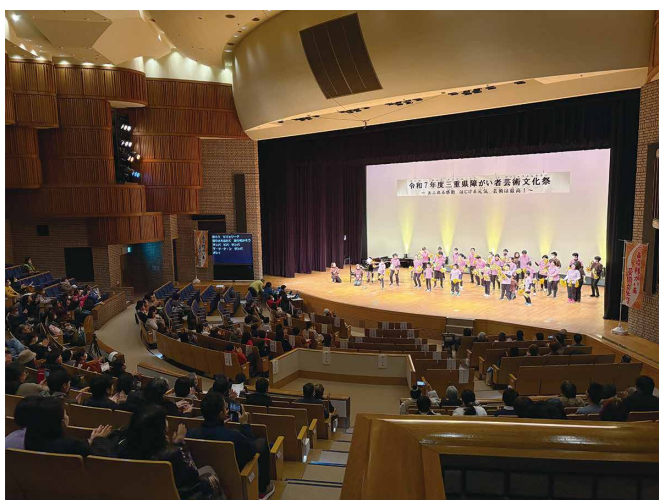
■情報収集・発信について

令和3年度から令和7年度の障がい者芸術文化祭作品展受賞作品についてはセンターのホームページにて閲覧が可能。またトップページの新着情報では当センター主催のイベント、その他県内外の公募展や芸術文化活動の情報発信をしている。

～三重県障がい者芸術文化祭の開催～ [実施主体]

令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 ステージ発表

- 開催日 2026年1月31日(土)
- 会場 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市文化会館)
けやきホール(鈴鹿市)
- 主催 三重県
- 実施主体 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
- 後援 三重県教育委員会、三重県社会福祉協議会
三重県文化振興事業団
- 出演者数 20組
- 来場者数 488人
- 内容 歌唱(ボーカル、手話歌等)、ダンス、演劇、楽器演奏
(大正琴、ハンドベル、リコーダー、二胡、ピアノ、
ギター等)バンド演奏、パフォーマンス(けん玉、手品、
ちんどん屋)



ぷちマルシェ開催

～芸術性に特化した展覧会の開催～

みえアールブリュット 2026 [主催] ～三重のたからもの～ (鈴鹿会場)

- 会 期 2026年1月29日(木)～2月1日(日)
- 会 場 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 (鈴鹿市文化会館)
さつきプラザ (鈴鹿市)
- 主 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 展示作品 令和7年度芸術文化祭受賞作品 43点
アトリエ・エピ 4点 希望の園 4点
ワークプレイス葉 4点 三重県自閉症協会 3点
計58点
- 来場者数 515人

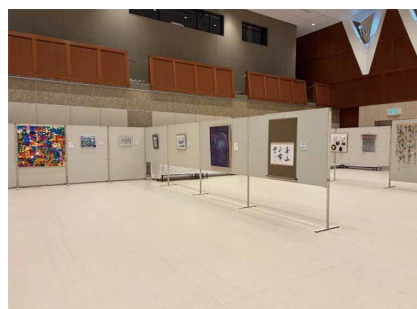
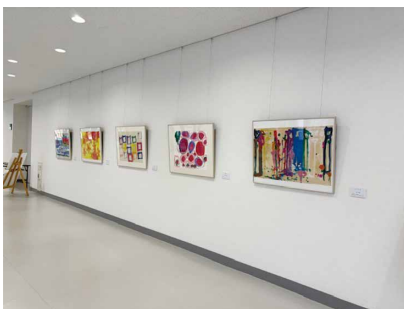


～芸術性に特化した展覧会の開催～

みえアールブリュット 2026 [主催]

～三重のたからもの～ (志摩会場)

- 会 期 2026年2月19日(木)～2月22日(日)
- 会 場 志摩市阿児アリーナ ベイホール (志摩市)
- 主 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 展示作品 令和7年度芸術文化祭受賞作品 43点
 アトリエ・エピ 4点 希望の園 4点
 ワークプレイス榊 4点 三重県自閉症協会 3点
 アトリエ・エレマン・プレザン 5点 計63点
- 来場者数 423人



みえアールブリュット2026（志摩会場） 連携企画 日本遺産「石見神楽（桑の木神楽会）」公演

「2025大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」[連携・協働]

- 開催日 2026年2月22日(日)
- 会場 志摩市阿児アリーナ ベイホール(志摩市)
- 主催 全国手をつなぐ育成会連合会、日本芸術文化振興会、文化庁
- 協力 障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク
- 連携・協働 障害者の芸術文化活動推進知事連盟
- 後援 志摩市
- 演者等 桑の木神楽会(社会福祉法人いわみ福祉会) 22人
全国手をつなぐ育成会連合会 2人
- 来場者数 約200人

連携企画
日本遺産「石見神楽(桑の木神楽会)」

みえアールブリュット2026 本事業は「2025大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」と連携・協働して実施しています。

2026.2.22日 開演 11:00

志摩市阿児アリーナベイホール



桑の木神楽会

(社会福祉法人いわみ福祉会)

桑の木神楽会は、昭和60年に桑の木園の利用者と職員で結成された石見神楽の団体。国内外で公演を行い、2017年にフランス・ナント市で開催された障害者の文化芸術国際交流事業に参加し、代表演目「大蛇」の公演を成功させました。2018年には長年の取り組みが評価され、障がい者の生涯学習支援活動の文部科学大臣表彰を受けました。今後も共に楽しむ活動を続けます。

〈2025大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト〉

主催 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

協力 障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

連携・協働 障がい者の芸術文化活動推進知事連盟



JAPAN CULTURAL EXPO 2025



日本博2.0
公式サイト

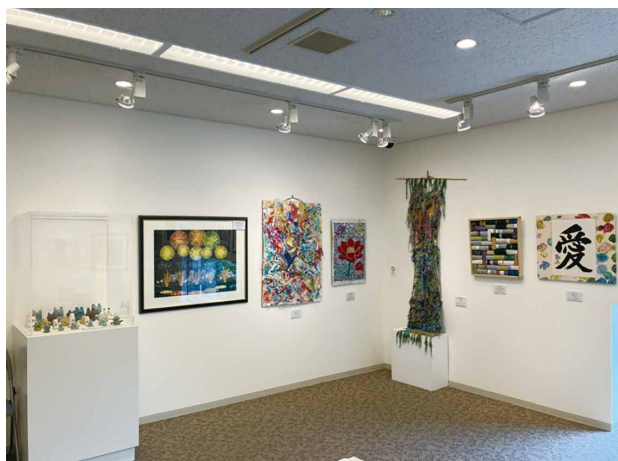
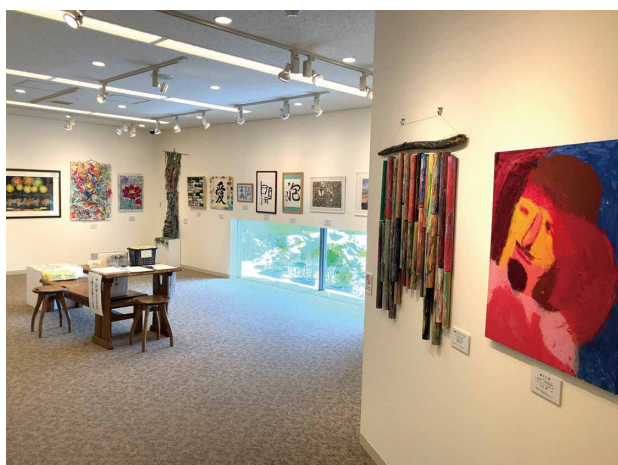


「石見神楽（桑の木神楽会）」



三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展 パラミタミュージアム〔主催〕

- 会 期 2025年7月10日(木)～7月21日(月・祝)
- 会 場 パラミタミュージアム 小ギャラリー (菟野町)
- 主 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 展示作品 令和6年度芸術文化祭受賞作品 42点
- 来場者数 約800人



～民間団体等・市町・企業と連携した作品展示～

シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 [主催] (第71回伊勢市展美術展覧会 同時開催)

- 会 期 2025年10月21日(火)～10月26日(日)
- 会 場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 ホワイエ (伊勢市)
- 主 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 展示作品 令和6年度三重県障がい者芸術文化祭受賞作品 42点



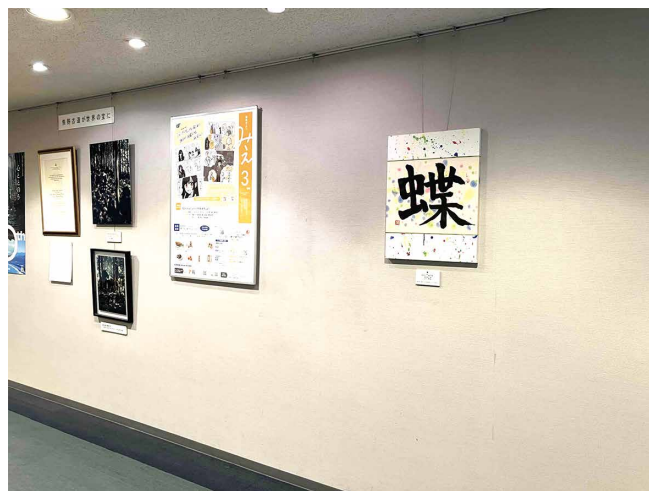
三重県庁県民ホール [主催]

- 会 期 2026年2月24日(火)～2月27日(金)
- 会 場 三重県庁 県民ホール (津市)
- 主 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 展示作品 令和7年度芸術文化祭受賞作品 43点



三重県庁知事室 作品展示 (令和5年度、令和6年度障がい者芸術文化祭受賞作品)

- 期 間 2025年4月～ 「蝶」 (令和5年度 書道部門三重県知事賞)
2025年12月～ 「夕陽」(令和6年度 絵画部門三重県知事賞)
「開」 (令和6年度 書道部門三重県知事賞)
- 場 所 三重県庁知事室前 (津市)
- 展示作品 令和5年度、令和6年度芸術文化祭受賞作品 計3点



「蝶」 山下芭奈 (令和5年度 書道部門三重県知事賞)

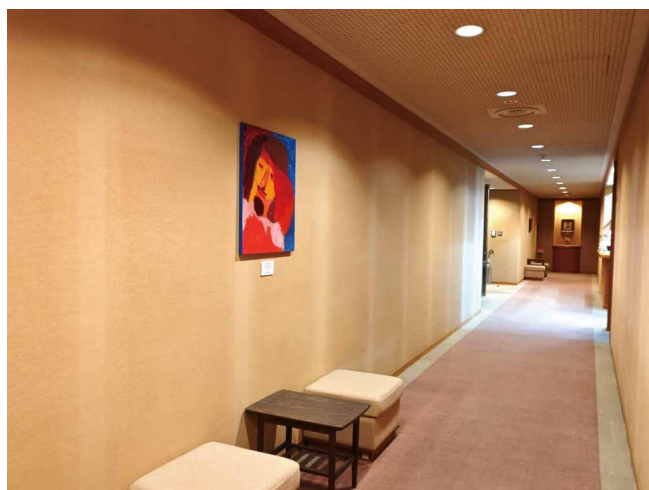


「夕陽」 木下千晴 (令和6年度 絵画部門三重県知事賞)

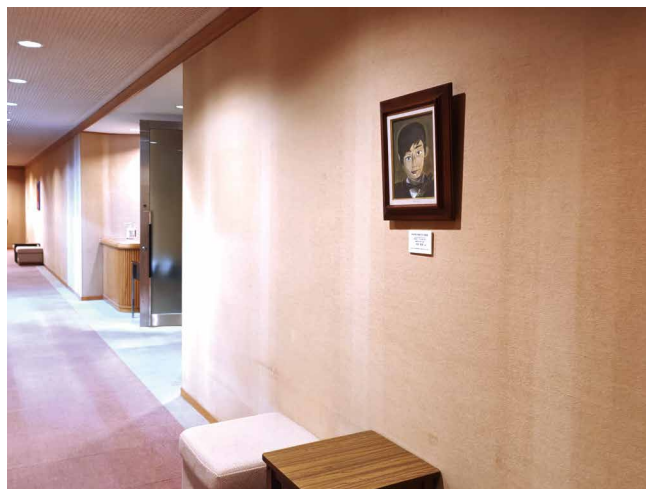
「開」 加藤綾太 (令和6年度 書道部門三重県知事賞)

三重県議会議長室・副議長室前 作品展示 (令和6年度障がい者芸術文化祭受賞作品)

- 期 間 2026年1月7日(水)～
議長室前 「燃えた男」(令和6年度 絵画部門三重県議会議長賞)
副議長室前 「ボクの大スキなピアノの先生」
(令和6年度 絵画部門きらめき新人賞)
- 場 所 三重県議会議事堂 議長室・副議長室前(津市)
- 展示作品 令和6年度芸術文化祭受賞作品 (県議会議長賞、きらめき新人賞 各1点)



「燃えた男」八田 重一 (令和6年度 絵画部門三重県議会議長賞)



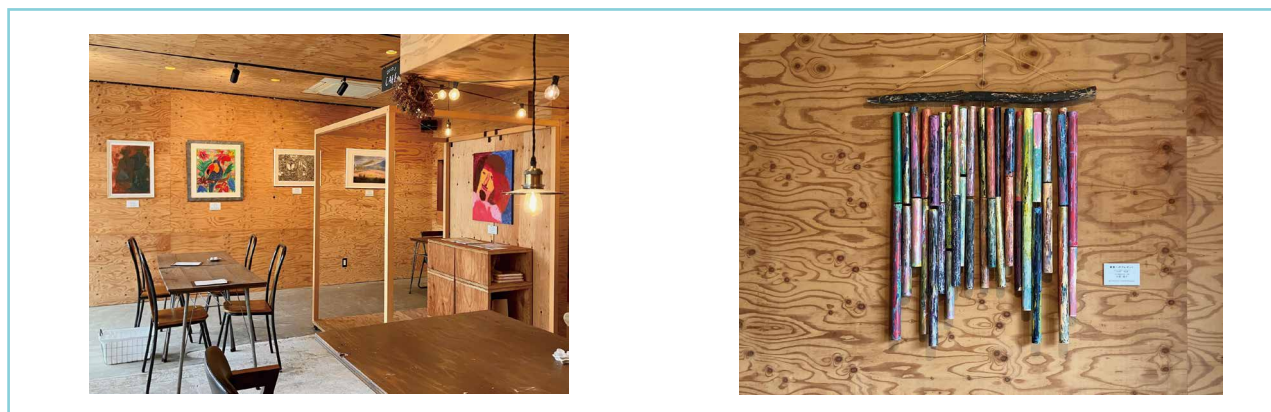
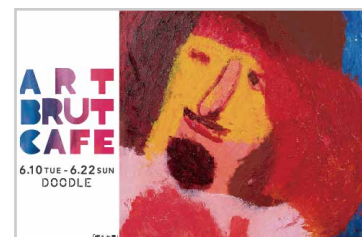
「ボクの大スキなピアノの先生」中西 琉遊 (令和6年度 絵画部門きらめき新人賞)

GALLERY+CAFÉ DOODLE

「ART BRUT CAFÉ 2025」

令和6年度芸術文化祭受賞作品展示（6点）[共催]

- 会 期 2025年6月10日（火）～6月22日（日）
- 会 場 GALLERY+CAFÉ DOODLE（松阪市）
- 共 催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 来場者数 約100人



NPO法人ふてい・ぼぬ～る 第5回「今を生きる展」

令和6年度芸術文化祭受賞作品展示（5点）[後援]

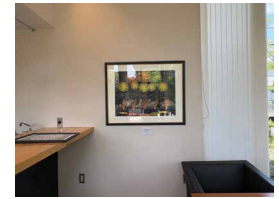
- 会 期 2025年10月11日（土）～10月13日（月）
- 会 場 津市久居アルスプラザ アートスペース、ギャラリー（津市）
- 主 催 難病・症がい者支援NPO法人 ふてい・ぼぬ～る
- 後 援 三重県、津市、津市社会福祉協議会、三重県障がい者芸術文化活動支援センター
ウッドメイク・キタムラ（株）、櫻井プランニングワークス、YOU サポート、
Creative Sign
- 協 力 M's House、千姫、就労継続支援 A 型事業所カーサ・アルモニ、
三重県四日市四葉ヶ咲中学校、津市立南郊中学校、津市立東橋内中学校、
三重県立久居農林高等学校、大学生ボランティアスタッフ
- 来場者数 約450人



ワークプレイス栞

みんながアーティスト展 vol.4 ~つなぐ~ [共催]

- 会 期 2025年6月28日(土)
~7月11日(金)
- 会 場 ワークプレイス栞(名張市)
- 展示作品 令和6年度芸術文化祭受賞作品 2点
- 来場者数 約250人



栞のアーティストたち展 vol.9 in 津う [共催]

- 会 期 2025年10月10日(金)~10月12日(日)
- 会 場 三重県総合文化センター文化会館棟第一ギャラリーB(津市)
- 展示作品 令和6年度芸術文化祭受賞作品 5点
- 来場者数 約250人



みんながアーティスト展 vol.5 [共催]

- 会 期 2026年3月9日(月)~3月19日(木)
- 会 場 ワークプレイス栞(名張市)
- 展示作品 令和7年度芸術文化祭受賞作品 20点
- 来場者数 約100人



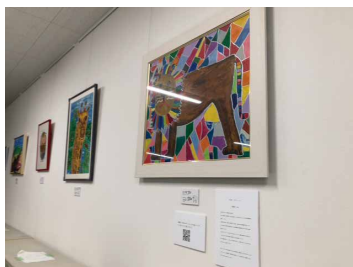
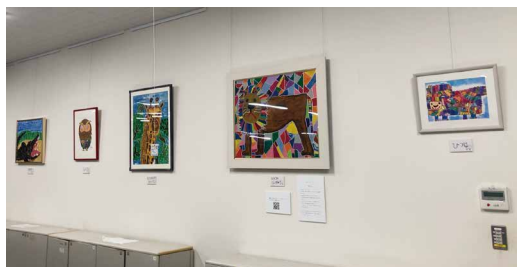
異才があなたを救う「HandiPlus-Art 2025」 令和4年度芸術文化祭受賞作品展示(2点) [協力]

- 会 期 2025年10月19日(日)~10月26日(日)
- 会 場 浄土宗大本山増上寺 本殿本堂地下1階 宝物展示前ラウンジ(東京都港区)
- 主 催 希望の園
- 協 力 東北北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター、三重県障がい者芸術文化活動支援センター、ポパイ・アトリエブルート、ハイテンション・アトリエウテンション、美術造型工房ワールドノウズ、アトリエ HumanElement
- 来場者数 約260人



N 株式会社 津工場 展示 [協力]

- 期 間 2025年12月8日(月)～12月25日(木)
- 会 場 N株式会社 津工場 社内ギャラリー (津市)
- 展示作品 障がい者アーティスト 村上祐太氏の作品 5点



- 期 間 2026年2月20日(金)～3月11日(水)
- 会 場 N株式会社 津工場 社内ギャラリー (津市)
- 展示作品 生活介護事業所あゆみ 所属アーティスト作品 4点



令和6年度、令和7年度 障がい者芸術文化祭受賞作品 三重県身体障害者総合福祉センター 常設展示

- 期 間 2025年4月～2025年10月 令和6年度芸術文化祭受賞作品展示
2025年12月～2026年3月 令和7年度芸術文化祭受賞作品展示
- 場 所 三重県身体障害者総合福祉センター ロビー・県障連事務所前 (津市)



三重県身体障害者総合福祉センター ロビー

県障連事務所前

～音楽、演劇、ダンス等の身体表現による

イベントの開催～

コミュニティダンスワークショップ [主催]

- 開催日 2025年11月11日(火)
- 講師 クレア・アペルト (Clare Apelt)
- 会場 熊野の宿 海ひかり 2F 宴会場・夕凧 (熊野市)
- 参加者数 40人
- 主催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 協力 あしょげぶセンター
(愛知県障害者芸術文化活動支援センター)
- 内容 コミュニティダンスとは年齢・経験・能力・背景に

関係なくすべての人が参加できるダンス活動。当日の参加者に合わせて、椅子に座り上半身や手を使うダンスを中心に行われた。通訳を交えながら参加者の好みの曲を流していただき体を動かした。交代でダンスリーダーとなり、他の人が体の動きを真似するミラリングをしたり、リボンをまわしたり、小人数のグループに分かれてダンスを考えたりと参加者同士の交流も深めることができた。



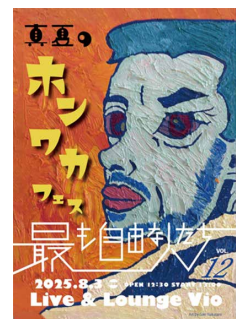
バンド体験会 [共催]

- 開催日 2025年6月15日(日)
- 会場 ライブハウス EGG (鈴鹿市)
- 主催 あしよげぶセンター
- 共催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 講師 ボーカル：山口 光、ギター：伊藤 美有、ベース：前野 利津
ドラム：瀬戸 綾子、アシスタント：西村 江広
- 対象
 - ・中学生以上の障がいのある方
 - ・ドラム、ギター、ベース、ボーカルの経験者
 - ・習い事やサークル、カラオケで歌唱・演奏の経験があるがバンド経験がない方
- 参加者数 44人



最も自由な人たち vol.12 真夏のホンワカフェス [協カ]

- 開催日 2025年8月3日(日)
- 会場 Live&Lounge Vio (愛知県名古屋市)
- 主催 希望の園、ポパイ
- 協カ 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
あしよげぶセンター
- 参加者数 約120人



こころのバリアフリーセミナー

「障がいの有無にかかわらず

誰もが共に暮らしやすい社会をめざして」[共催]

- 開催日 2025年12月23日(火)
- 会場 三重県庁講堂(津市)
- 参加者数 59人
- 主催 三重県
- 共催 三重県障がい者芸術文化活動支援センター
- 内容 (1) 講演「合理的配慮について」
講師：三重県子ども・福祉部障がい福祉課 東(ひがし)啓発推進員
(2) 講演：「舞台の上では誰もが自由～演劇的想像力がバリアを乗り越える～」
短編リーディング劇上演
講師：俳優・劇作家・演出家 コンプリ団代表 はしぐち しん 氏



■令和6年度受賞作品のご紹介 (Instagram) 20 投稿

(閲覧には Instagram のアカウントが必要です)



公式 Instagram にて、SNS 掲載許可を得た令和6年度の受賞作品を紹介した。

受賞作品の賞名、作品名、作品写真、作者情報、作者コメント、審査員講評（一部）を掲載した。

令和6年度受賞作品のご紹介

絵画部門 三重県知事賞
「夕陽」





賞名 : 絵画部門
三重県知事賞

作品名 : 夕陽

作家名 : 木下 千晴

所属 : そらまめ

作者コメント

沢山の写真の中から、心に残った1枚を描きました。夕陽の色を出すのが難しかったです。すぐ迷ったけれど、出来上がったら、夕焼け空になって嬉しかったです。仲良しの友達が、私の絵を見て「好き」だと言ってきて、また描きたいと思いました。これからも、沢山絵を描いていきたいです。

審査員の講評 ※知事賞・議長賞のみ

すなおに見入ってしまう作品です。色彩構成がすばらしく、いつまでも見ていたくなる作品です。



■PHOTOGRAPHIC DOCUMENTARY (Instagram) 19 投稿

公式 Instagram にて、カメラマンのアートサポーターが県内で活動する障がい者アーティストのもとへ取材へ行き、作品制作の様子や素顔などを撮影し、静止画 10 投稿、動画 9 投稿で発信した。

①貼り絵・その他部門

諸戸 隆輝さん



②手芸・工芸部門

永田 有美さん

水腰 貴子さん



③絵画部門

中西 琉遊さん



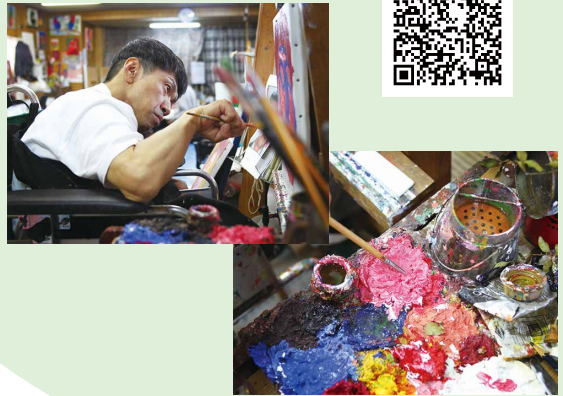
④写真部門

小川 菜々美さん



⑤絵画部門

八田 重一さん



⑥手芸部門

零さん



⑦手芸部門

川口真理さん



⑧貼り絵・その他部門

伊藤 寛市さん



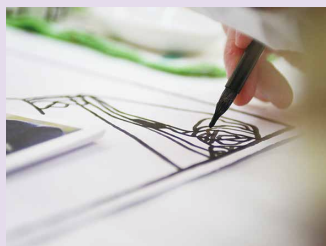
⑨貼り絵・その他部門

前川 智美さん



⑩絵画部門

菅尾 博司さん



事業所等に対する相談支援

アートサポーター派遣、相談

- 2025年4月～2026年3月
NPO法人工房ゆう（津市）計4回（美術）
- 2025年4月～2025年6月
個人（松阪市）計7回（美術他・相談）
- 2025年4月
個人（四日市市）1回（美術）
- 2025年4月～2026年3月
個人（四日市市）2名 計5回（美術）
- 2025年5月～2026年3月
彩はうす藤方（日中サービス支援型障がい者グループホーム）（津市）計4回（美術）
- 2025年6月～2026年1月
彩はうす白塚Ⅱ（日中サービス支援型障がい者グループホーム）（津市）計3回（美術）
- 2025年7月～2026年2月
彩はうす白塚（日中サービス支援型障がい者グループホーム）（津市）計3回（美術）
- 2025年6月～2026年3月
N株式会社（津市）計4回（美術・展示相談）
- 2025年6月
個人（鈴鹿市）1回（美術・相談）
- 2025年11月
個人（松阪市）6回（美術・相談）
- 2025年11月
相談機関（鳥羽市）1回（音楽・相談）
- 2025年12月
個人（鳥羽市）計2回（音楽）
- 2025年12月～2026年1月
個人（鈴鹿市）計3回（美術・相談）
- 2026年1月
個人（津市）1回（美術・電話相談）
- 2026年2月
個人（鈴鹿市）1回（美術）

アートサポーターの登録

令和7年度は6人の新規登録があり、登録者数は46人となった



センターへの相談事例

1

相談者 / 個人
相談種別 / 制作方法、情報収集
相談内容 / 絵の具の使い方、道具の使い方が分からない
作品発表の情報がほしい
指導方法 / アートサポーターによる絵を描く前の基本講座を開催
公募展などの情報の提供

2

相談者 / 福祉関係事業主
相談種別 / 創作活動の方法
相談内容 / 障害者グループホームの利用者への創作環境、
支援方法を知りたい
指導方法 / アートサポーターの紹介
具体的な創作方法と指導方法を紹介

3

相談者 / 個人
相談種別 / 音楽活動の方法
相談内容 / 個人でギターをしているが技術を高めバンドを組みたい
指導方法 / 音楽のアートサポーターを紹介
障がい者によるバンド情報の提供

4

相談者 / 企業
相談種別 / 展示相談
相談内容 / 障がい者のアート作品を社内ギャラリーに展示したい
指導方法 / アート活動をしている福祉関係事業所や個人作家の紹介
展示作品の搬入出の補助

相談者の 声

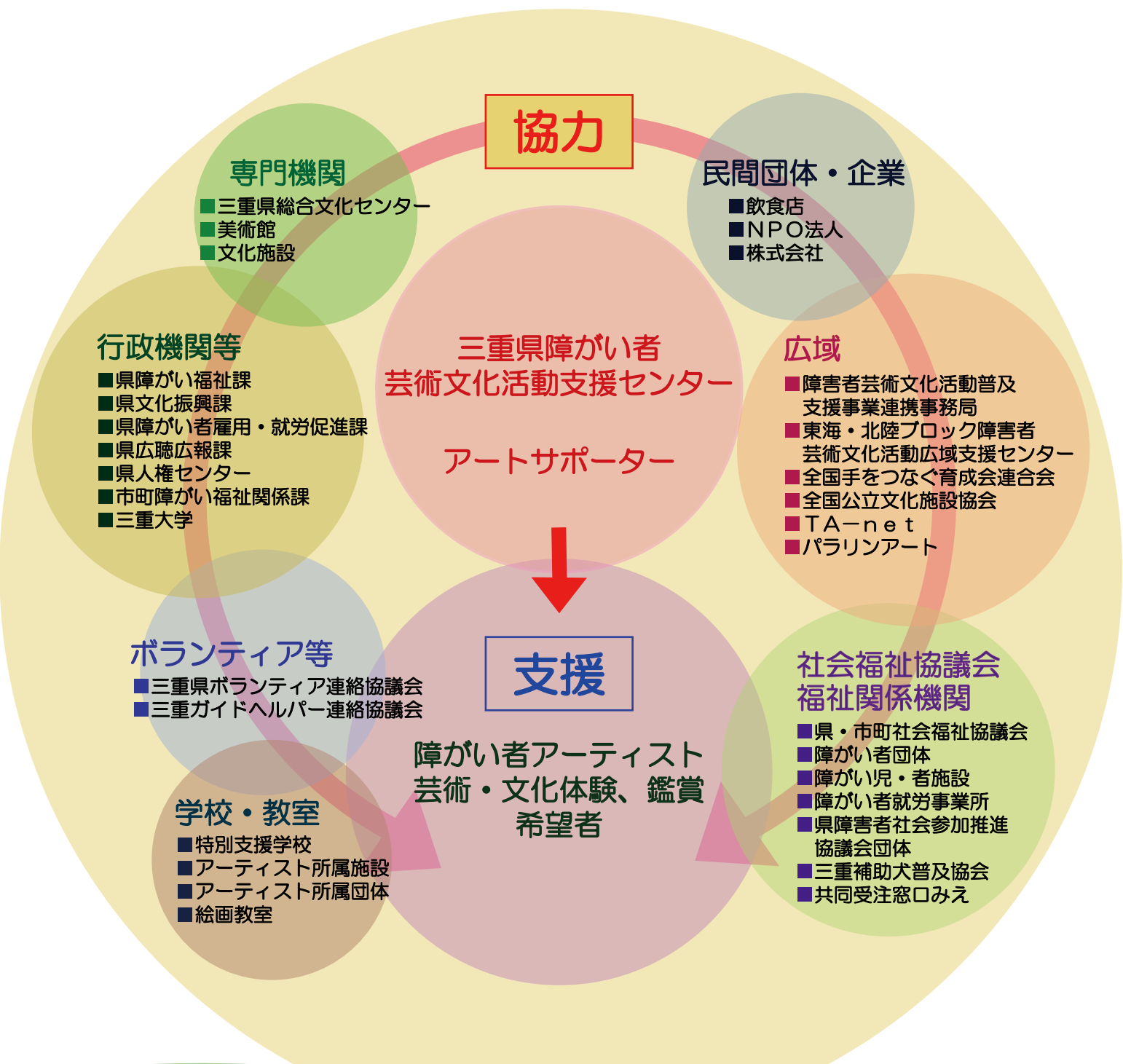
水彩画を中心に色々な創作方法を提案していただきありがとうございます。
どうしても絵の描き方がかたよっているので、今まで経験の無い創作方法を
教わり楽しく時間を過ごせました。

絵を描くだけでなく、絵画教室紹介や展示機会を設けていただき、本人の活動
領域も広がり喜んでいきます。
また作品募集の紹介も定期的にいただき、応募することも増えてきました。

(相談者のご家族より)

センターの運営 ネットワークづくり

芸術文化祭の実行委員会に令和6年度から三重県文化振興課、三重県文化振興事業団が加わったことで、文化関係機関とのネットワークが強化されている。また、今年度は、県内広域で開催した研修会や展示会などのイベントを通して、様々な地域の方々と交流を深めることができた。



つながる つなげる ひろがる しえんのわ

ピアレビューについて

令和7年度三重県障がい者芸術文化祭（作品展・ステージ発表）は、東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センターのピアレビュー（PeerReview：仲間による評価）の対象となった。毎回参加者にアンケートは実施しているものの、今回は目的を共有する方々から客観的に評価を頂くことができ、アンケートだけでは分からなかった自分たちの強みと課題に気付くことができた。（作品展の評価を一部抜粋して紹介）

1. 事業の土台（主催・連携体制・継続性）

【強み】

- ・ 条例根拠で文化振興事業団・文化振興課が参画し、審査員選定や広報が組織的に支えられている。
- ・ 県障がい福祉課が当日運営にも積極的に関与し、庁内の理解形成と協力体制の広がりがある。
- ・ 県文化振興課が取材記事を作成し発信するなど、公的発信力を活かした広報ができています。
- ・ 県仕様書で公募型・全作品展が明示され、事業方針が明確で参加者にとって見通しが立ちやすい。
- ・ 表彰式が知事・議員出席の規模で実施され、全体講評・スライド投影も行うなど発信力が高い。
- ・ 受賞作品がみえアール・ブリュットに展示され、受賞後の出口が確保されている。
- ・ 会場はアクセス・駐車場条件が良く、来場受入の基礎条件が整っている。
- ・ これまで巡回方式で事業を実施してきたことから、イベントの周知が三重県下にされている。
- ・ この事業がハブとなり、支援センターの様々な事業につながっている。

【課題】

- ・ エントリー後の作品カード730枚発送を起点に、情報管理を伴う細かな事務が大量に発生し、事務負担が高い。
- ・ 繁忙期にスタッフ1名がつきっきりで対応する局面があり、ピーク負荷が集中しやすい。
- ・ 最終日・返却日は実行委員会とアートサポーターが総出で対応する必要があり、工程上の山場が残っている。
- ・ 県仕様書で公募型・全作品展が明示され、事業方針が明確な分、自由度は低い。

2. 応募しやすい枠組みと広報メッセージ

【強み】

- ・ 全施設配布、障害福祉課・支所、特別支援学校一括配布など、福祉・教育ルートの到達力が高い。
- ・ 県広報誌、市町への直接依頼、新聞・テレビ・FMといったマスメディア露出があり、一般層への接点も確保している。
- ・ 巡回展が広報として機能しているという認識があり、事業設計と広報が連動している。
- ・ 総じて広報の意識が高い。

【課題】

- ・ 労力とコストが過重である。
- ・ 活動が盛んになりとても良いことだが、それによって会場要件や巡回展の負荷が出てきた。

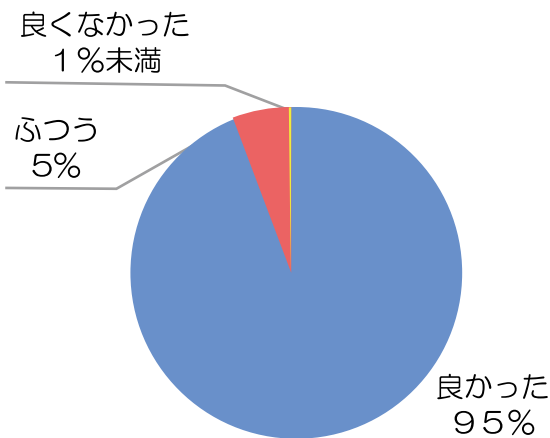
アンケート結果

三重県障がい者芸術文化祭、みえアールブリュット、受賞作品巡回展等の事業で来場者にアンケートを実施している。三重県障がい者芸術文化祭のアンケートでは全体の感想は、作品展、ステージ発表共「良かった」が9割を超えており高評価であった。また、三重県総合文化センターで開催した作品展来場者のお住まいの地域は開催地（津市）に限らず県内各地から来場していることが分かる。みえアールブリュットでは、地域開催ということもあり、開催周辺地域からの来場者が多かった。

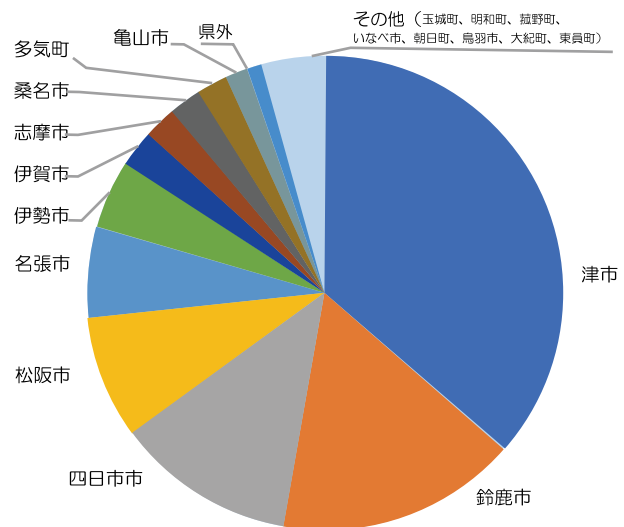
開催情報を得た媒体と得たい媒体とのギャップについては今後の課題である。

三重県障がい者芸術文化祭 作品展 アンケート（回収449枚）

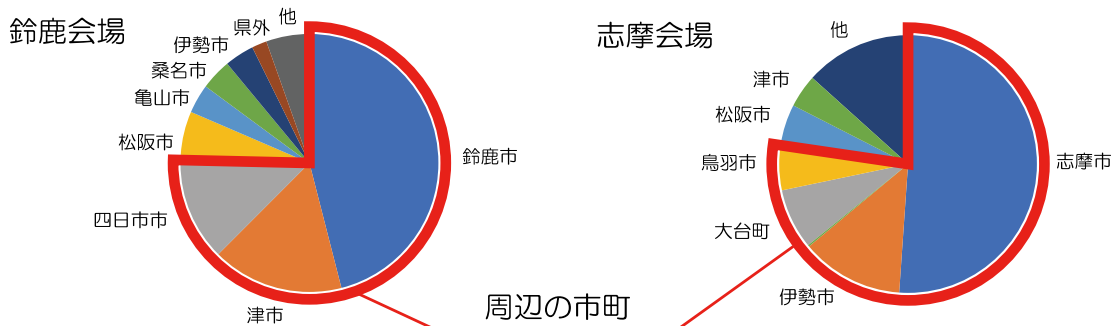
■全般の感想はどうでしたか？



■お住まいの地域を教えてください

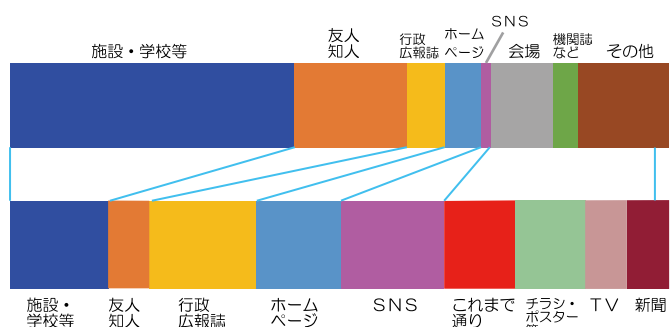


みえアールブリュット2026アンケート ■お住まいの地域を教えてください



■この文化祭の開催を何で知りましたか

■今後どのような方法でこの文化祭の情報を得たいですか



事業評価及び成果報告

「三重県障がい者芸術文化祭」は、今年度から、700点を超える出展がある「作品展」と集客に問題があった「ステージ発表」を別日程、別会場で開催した。12月に3日間の日程で開催した「作品展」は、会場を津市の三重県総合文化センターとし、県の中心部でアクセスも良く、様々な地域から参加があり、来場者は、前年度（同時開催）を超える2,414人となった。ステージ発表は、1月に鈴鹿市のハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿で、「みえアールブリュット 2026」（作品展）と併せて、開催日程を2日から1日に変更して開催したが、観覧者が出演者にメッセージを届ける交流企画（クッキープレゼントあり）も好評で、488人と多くの方に参加いただくことができた。また、今年度は、当文化祭が東海・北陸ブロック広域センターのピアレビューの対象となり、両会場で各県の皆様と楽しく意見交換の時間を持ち、概ね高評価をいただいた。課題とされた業務の効率化については、広域センターと方法等を共有し、各県担当者からのアドバイスも参考に改善していくこととする。

今年度より県の仕様書に追加された項目「音楽、演劇、ダンス等の身体表現によるイベントの開催」については、6月に鈴鹿市で「バンド体験会」を、11月に熊野市で「コミュニティダンスワークショップ」を、あしよげぶセンターの協力を得て、参加者が楽しみながら交流を深めるイベントとして開催し、いずれも満足度が高かったため、来年度事業にもつなげていきたい。

発行日：2026年4月

企画：三重県障がい者芸術文化活動支援センター

発行：三重県障がい者芸術文化活動支援センター

住所：〒514-0113

三重県津市一身田大古曾670-2

三重県身体障害者総合福祉センター内

公益社団法人 三重県障害者団体連合会

TEL：059-232-6803

FAX：059-231-7182

ホームページ：https://mie-asc.jp E-mail：info@mie-asc.jp

Instagram アカウント名：mie_asc



三重県障がい者芸術文化活動支援センター
令和7年度事業報告書